

2015年4月23日掲載

「新入社員の育て方」

3月末から今月にかけて、道内の企業で新入社員研修の講師を務めた。真新しいスーツに身を包んだ姿を見ると、私も毎年フレッシュな気持ちになる。

研修を通して感じる新入社員の特徴は、真面目で一生懸命だということだ。講師の話に真摯^{しんし}に耳を傾け、与えられた課題に最後まで妥協せずに取り組む。

しかし、気になるのは「答え」を求められることだ。自由に考えてほしいと伝えても、「これでいいんですか？」と確認されることが多々ある。学生のうちは親や先生に言われたことをしっかり行えばよかったかもしれない。だが社会に正解はない。主体性を持って取り組み、失敗も糧にしていく必要がある。

また緊張もあるのか、表情が乏しく感じる。喜怒哀楽は言葉以外の部分で伝えるコミュニケーションだ。豊かな感情を出してほしいと願う。

知り合いの経営者からは「最近の新人は・・・」と聞くこともあるが、彼らが育った環境や時代背景を理解する必要がある。仕事を教えることに加えて、「上司が仕事を楽しんでいるか」が大切だと思う。上司が楽しく働いている企業は、部下も楽しそうに働いている。上司の働く喜びを見て部下は育っていくのだ。

相手にマイナスな部分があっても、現状を把握して補い、プラスにしていくことこそが教育である。育て方次第で相手はいくらでも伸びていく。新入社員の強みを活かして戦力として成長させることが、企業発展の鍵になる。

(毎日新聞より)